



「名勝和歌の浦」の歴史を学んで、知って、楽しむまちづくり

和歌山市和歌浦で「まちづくり」をおこなう団体『和歌の浦ファンタスティコ』。代表の西本直子さんに話をうかがいました。西本さんは、生まれ育った和歌浦の歴史を研究されており、「万葉集の歌にも詠まれている“和歌の浦”は、古くからの貴重な資料が残っている特殊な地域で、“和歌浦学”という学問ができそうなくらい歴史の価値のある地域です。」と熱く語ります。



昨年の和歌浦ダンスの模様



あしべ屋妹背別荘の紹介リーフレット (ウェブでも公開されています)
http://www.nishimoto-jp.com/imose/imose_index.html

由緒ある建物の存廃問題から
和歌浦には、全国で2番目に低い山といわれる妹背山があり、そこには「あしべ屋妹背別荘」という明治時代に多くの文化人が訪れた建物があります。建築士でもある西本さんは、1922年に祖父の所有となった「あしべ屋妹背別荘」が老朽化のため解体寸前の状態となっていたのをとても残念に思い、歴史的に価値のある建物をぜひ存続させたい、と思ったのが活動のきっかけだそうです。

しかし、あしべ屋妹背別荘の存続を地域の方々がどう思っているのかわからず、みなさんから話を聞こうと2014年3月にあしべ屋妹背別荘で「第1回名勝和歌の浦まつり」を地域のみならずと共催するなど、個人的にまちづくり活動を始めました。桜まつりも今年3月で第7回目を迎えることとなり、手助けをしてくれる有志メンバーとともに「和歌の浦ファンタスティコ」という団体をつくり、まちづくり活動を継続させることになりました。そしてあしべ屋妹背別荘についても「名勝和歌の浦」の構成要素として、和歌浦の価値を高める使い方を探索中とのこと。

歴史を学び 現代に活かす
和歌の浦ファンタスティコは、まず「和歌山市商業活性化支援事業」を活用し、和歌浦のマップ作りに着手しました。和歌浦の中心部には江戸から昭和中期までたいへん栄えた

「和歌の浦」の歴史を知る。でも、難しく考えずに楽しんでまちづくりをしたい」と西本さんは

★イベントのご案内
「和歌の浦の知恵袋さん」いらっしやい♡
日時 2月23日(日) 13:30～15:30頃
場所 和歌山市和歌浦支所 2階
内容 和歌浦ダンスの5分動画プレビュー、和歌浦中地図改訂版の検討、明光通りの古い写真集めなど
プレイバック赤いパート
日時 2月24日(月) 13:30～15:00
場所 木村屋旅館広間
内容 和歌浦ダンスの20分動画プレビュー、写真展示など
お問い合わせはメールで kronosclear@gmail.com まで。

今回の「わかつく」は

全国各地で公共交通機関のあり方が問われています。和歌山県がまとめた資料から、県内の公共交通機関の最新情報をご紹介します。次回わかつく 229号は1月31日付の予定です。

～シンポジウム「SDGsから考える」～

誰一人取り残さない地域づくり

国連で採択され日本も参加している「SDGs(持続可能な開発のための目標)」では「誰一人取り残さない」ことを大きな目標としています。

わたしたちの周囲でも、高齢者や子ども、病気や障がいを抱えた方など「社会的弱者」と呼ばれる方々を地域で支える「居場所」を運営している団体があります。県内の「居場所」活動を行っている団体より取組報告をいただき、SDGsの視点から地域の課題解決のヒントを探ります。

「誰一人取り残さない」地域社会について、一緒に考えませんか？

1月25日(土) 13:30～16:00

場所: T-LABO (JR和歌山駅徒歩5分、みその商店街内)

内容: ① 課題提起「地域の居場所とSDGs」中嶋悦子さん (JICA 和歌山デスク)

② 活動紹介&ミニディスカッション、③ 意見交換会

ファシリテーター 志場久起 (わかやま NPO センター副理事長・事務局長)

登壇予定団体 はしっ子えがおサポートばればれ、NPO法人WACわかやま・ほっこりさん

NPO法人いきいき和歌山がんサポート、ごもんいくもん〜御門を元気にする会〜

定員: 50名 (事前申し込みが必要です) 参加費: 無料

主催: 認定 NPO 法人わかやま NPO センター 共催: 近畿労働金庫、JICA 和歌山デスク

後援: 公益社団法人和歌山県労働者福祉協議会、和歌山県生活協同組合連合会

こちらから
オンラインで
申込み可能!



地元の課題を地元で学び地元で解決する人を育成する「わかやま・ひとづくり塾」

Vol.3 NPO も政策提言に向けて ～議会との関係を浜松市に学ぶ～

NPO は地域課題解決を進めることを主なミッションにしている団体ですが、なかには「NPO の成果を地域全体に広げて、地域をよりよりに変えていきたい!」とお考えの事例も少なくないのでは。そのためには、行政等との関係性を如何に構築していくか、戦略が必要です。

そんななか浜松市では、年に1回、市議会を構成する全会派の代表者を招いて NPO との意見交換をおこない、NPO の活動成果を市政に活かしていこうという取り組みが続けられています。そのコーディネートを担われている浜松 NPO ネットワークセンターの事例に学びます。

1月26日(日) 13:30～16:00

場所: 和歌山ビッグ愛9階会議室C

講師: 小林芽里さん (浜松 NPO ネットワークセンター事務局長)

定員: 30名 (事前申し込みが必要です) 参加費: 無料

主催: 認定 NPO 法人わかやま NPO センター

こちらから
オンラインで
申込み可能!



●参加申し込み・お問い合わせ 認定 NPO 法人わかやま NPO センター
TEL 073-424-2223 (火曜～金曜の10時～20時、不在時は転送されます) E-mail info@wnc.jp
◆参加申込時に頂戴する個人情報は本事業の運営のみに用います。